

令和4年度 予算の概要

交 通 局

目 次

I. 令和4年度当初予算（案）の概要について……………	1
II. 令和4年度主要事業について……………	9
III. 参考資料……………	27

令和4年度当初予算（案）（自動車事業会計）

1. 予定業務量
2. 収支計画
3. 参考資料
 - (1) 1日あたり乗客数の推移
 - (2) 年度末企業債残高の推移
 - (3) 軽油単価の推移
 - (4) 一般会計からの繰入金の状況
 - (5) 予定貸借対照表

令和4年度当初予算（案）（高速鉄道事業会計）

1. 予定業務量
2. 収支計画（全線）
3. 参考資料
 - (1) 収支計画（線別）
 - (2) 1日あたり乗客数の推移
 - (3) 年度末企業債残高の推移
 - (4) 一般会計からの繰入金の状況
 - (5) 予定貸借対照表

乗客数の推移

令和4年度当初予算の 概要について

令和4年度予算編成方針

本市の交通事業は、市民の日常生活や経済活動に必要な生活基盤としての役割を担い、その整備・充実に努めてきた。しかしながら、少子高齢化の進展、人口減少傾向の継続、施設の老朽化などに加え、地震や集中豪雨等の大規模災害の頻発、新たな感染症の拡大、ICT等の技術革新の進展など、公共交通を取り巻く環境が大きく変化しており、その中でも、市民に必要とされる公共交通であり続けるために、「市民の足」としての役割を積極的に果たすなど、神戸のひとの暮らしとまちの発展を支えていくことが求められている。

そのため、これまでも公営交通としての役割と企業としての経済性の両立を果たすべく、厳しい経営環境、財政状況の中、安全性強化や利便性・快適性の向上を図るほか、乗客増対策や附帯事業の収入増対策などの収益力の強化、人件費の抑制・物件費の縮減等の経営の効率化に取り組んできた。そして、令和3年度には、「市民の足」を持続的に提供していくため、公営交通を将来にわたり安定的に運営していけるよう、今後の事業環境や課題を踏まえた経営の方針や事業戦略、財政計画を定めた「神戸市営交通事業 経営計画 2025」(計画期間令和3年度～令和7年度)を策定し、経営方針に沿った事業戦略や経営改善に取り組んでいるところである。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症は未だ終息が見込めず、市バス・地下鉄のご利用者の減少傾向の継続など、今後も厳しい経営状況が続くものと見込んでいる。

そうした中においても、引き続き、経営計画の基本的な考え方である「安全・安心の確保」、「快適なサービスの提供」という公共交通機関としての使命を果たすとともに、公営交通事業に求められる「市民の足の確保」を通じて、神戸市営だからこその意義・役割である「神戸のまちづくりに貢献」とともに、経営計画で掲げた施策を着実に遂行するため、令和4年度に取り組むべき事業予算を編成した。今後も「安定的な経営基盤を確立」とともに、職員一人ひとりが「チャレンジ精神」を持って、未来に向けて新たに挑戦していくことで、「神戸の市民生活やまちの発展に貢献」していく。

新型コロナウイルス感染拡大による経営への影響

1. R3年度減収見込み額（対H30年度決算比）

自動車事業会計 約14億円（乗車人員：約△4万人/日 △21%）

高速鉄道事業会計 約25億円（乗車人員：約△5万人/日 △14%）

《参考：R3年 各月の乗車人員および年度比較》

区分	市バス			地下鉄		
	人/日	対R1年比	対H30年比	人/日	対R1年比	対H30年比
1月	129,253	▲24.7%	▲30.7%	237,345	▲20.2%	▲20.0%
2月	135,320	▲22.0%	▲22.6%	243,623	▲19.4%	▲18.8%
3月	147,247	▲13.4%	▲15.9%	254,947	▲15.6%	▲16.0%
4月	141,513	▲24.1%	▲24.1%	257,414	▲19.2%	▲18.8%
5月	130,525	▲29.8%	▲30.8%	241,674	▲25.3%	▲24.9%
6月	145,464	▲23.2%	▲24.9%	261,689	▲19.7%	▲19.4%
7月	149,340	▲22.1%	▲20.6%	270,651	▲16.6%	▲15.1%
8月	136,265	▲23.1%	▲25.0%	248,321	▲19.7%	▲20.2%
9月	141,743	▲23.3%	▲20.8%	252,861	▲21.4%	▲17.1%
10月	150,236	▲20.4%	▲21.7%	275,740	▲13.8%	▲14.1%
11月	151,672	▲19.6%	▲20.6%	286,318	▲11.9%	▲12.2%
12月※	148,997	▲18.4%	▲18.5%	282,556	▲11.5%	▲10.4%
通年	142,325	▲22.0%	▲23.1%	259,502	▲17.8%	▲17.2%

※R3年12月は速報値

※地下鉄においてはR3年は北神線を含む

2. R4年度減収見込み額（対H30年度決算比）

自動車事業会計 約9億円（R4年度乗車料収入予算 約85億円/年）

（乗車人員：約△3万人/日 △15%）

高速鉄道事業会計 約18億円（R4年度乗車料収入予算 約156億円/年）

（乗車人員：約△4万人/日 △11%）

⇒それぞれ下記の減収率を見込む

※自動車事業－通勤定期：△12%・通学定期：△20%・定期外：△15%

※高速鉄道事業－通勤定期：△10%・通学定期：△10%・定期外：△15%

3. R4年度収支見通し

自動車事業会計 △9億円（資金不足比率 △18.8%）（※）

高速鉄道事業会計 △42億円（資金不足比率 — ）

※特別減収対策企業債の発行により資金不足額は拡大しない見込み

（公営企業における新型コロナウイルス感染症に伴う減収により資金不足額が拡大した金額が企業債発行の対象）

○自動車事業会計における令和4年度予算の収支状況

1. 乗車人員の状況

【1日あたりの乗客数推移】

	H30決算	R01決算	R02決算	R03予算		R04予算	R4-R3
定期	64,896	64,114	53,395	57,018	→	55,064	△1,954
定期外	62,610	60,317	43,364	48,396	→	53,874	5,478
敬老パス	35,933	36,329	27,780	28,776	→	31,542	2,766
福祉パス	19,791	19,434	14,353	14,205	→	15,142	937
合計	183,230	180,194	138,892	148,395		155,622	7,227

2. 収支の状況

(税抜、単位：百万円)

	R3年度	R4年度	差額	主な要因
収入	9,785	10,548	763	
営業収入	8,757	9,157	400	
乗車料収入	8,481	8,704	223	新型コロナ影響を踏まえた収入見込み
営業外収入	1,027	1,390	363	
一般会計補助金	809	1,310	501	経営改善促進補助金の増加
特別利益	0	0	0	
支出	10,801	11,450	649	
営業費用	10,556	11,121	565	
人件費	3,454	3,733	279	自動車整備士の増・時間外勤務の削減
燃料費	752	855	103	燃料単価の上昇
営業所委託料	4,304	4,676	372	受託事業者の労務単価増等
減価償却費	472	433	△39	
営業外費用	199	238	39	
予備費	45	91	46	
営業損益	△1,799	△1,964	△165	
経常損益	△971	△902	69	
純損益	△1,016	△902	114	
累積資金過不足額	△1,718	△1,717	1	
資金不足比率	19.6%	18.8%	△0.8%	

※資金手当として、

- ・高速鉄道事業会計からの出資（164百万円）
- ・新型コロナによる減収見込みへの補填として、特別減収対策企業債発行（709百万円）

≪特別減収対策企業債≫

(1)概要

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組みに伴う利用者数の減少等により公営企業において大幅な収入減が発生していることから、交通・病院など住民生活に不可欠な公営企業の資金繰りを円滑にするため、総務省により令和2年度から新設された制度。

(2)諸条件

①対象者

新型コロナウイルス感染症により資金不足額が発生又は拡大する公営企業であること

②発行金額

当該年度の資金不足額から平成30年度又は令和元年度の資金不足額のうち小さい額を引いた額

③その他

償還年限は原則15年以内

発行済み特別減収対策企業債の償還利子の1/2の額を一般会計から繰り出し（基準内繰り出し）

○高速鉄道事業会計における令和4年度予算の収支状況

1. 乗車人員の状況

【1日あたりの乗客数推移】

(全線)	H30決算	R01決算	R02決算	R03予算	R04予算	R4-R3
定期	168,394	169,831	148,877	151,971	→ 153,812	1,841
定期外	106,883	103,242	71,715	85,743	→ 91,177	5,434
敬老パス	20,475	21,110	14,227	17,264	→ 17,361	97
福祉パス	17,865	17,736	12,017	11,685	→ 12,752	1,067
合計	313,617	311,919	246,836	266,663	275,102	8,439

【1日あたりの乗客数推移】

(山)	H30決算	R01決算	R02決算	R03予算	R04予算	R4-R3
定期	142,439	142,633	123,380	127,173	→ 128,880	1,707
定期外	88,873	85,453	59,564	71,100	→ 75,476	4,376
敬老パス	17,558	18,090	12,164	14,942	→ 14,929	△ 13
福祉パス	14,511	14,391	9,756	9,608	→ 10,381	773
合計	263,381	260,567	204,864	222,823	229,666	6,843

【1日あたりの乗客数推移】

(海)	H30決算	R01決算	R02決算	R03予算	R04予算	R4-R3
定期	25,955	27,198	25,497	24,798	→ 24,932	134
定期外	18,010	17,789	12,151	14,643	→ 15,701	1,058
敬老パス	2,916	3,020	2,063	2,322	→ 2,432	110
福祉パス	3,354	3,345	2,261	2,077	→ 2,371	294
合計	50,235	51,352	41,972	43,840	45,436	1,596

2. 収支の状況（全線）

（税抜、単位：百万円）

	R3年度	R4年度	差額	主な要因
収入	22,188	22,464	276	
営業収入	18,553	19,047	494	
乗車料収入	16,763	17,138	375	新型コロナ影響を踏まえた収入見込み
営業外収入	3,635	3,417	△ 218	基金繰入金の減
支出	26,330	26,661	331	
営業費用	23,741	24,504	763	
人件費	6,340	6,163	△ 177	時間外勤務の削減
動力費	721	765	44	燃料単価の上昇
減価償却費	10,709	11,290	581	新型車両購入・ホームドア設置による増
営業外費用	2,544	2,067	△ 477	償還利子の減
予備費	45	90	45	
営業損益	△ 5,188	△ 5,457	△ 269	
経常損益	△ 4,097	△ 4,107	△ 10	
純損益	△ 4,142	△ 4,197	△ 55	
累積資金過不足額	3,823	2,270	△ 1,553	

2-1. 収支の状況（西神・山手・北神線）

（税抜、単位：百万円）

	R3年度	R4年度	差額	主な要因
収入	17,590	17,879	289	
営業収入	16,234	16,688	454	
乗車料収入	14,674	14,978	304	新型コロナ影響を踏まえた収入見込み
営業外収入	1,356	1,191	△ 165	基金繰入金の減
支出	18,474	19,087	613	
営業費用	17,398	18,224	826	
人件費	5,066	4,915	△ 151	時間外勤務の削減
動力費	603	641	38	燃料単価の上昇
減価償却費	7,222	7,854	632	新型車両購入・ホームドア設置による増
営業外費用	1,049	795	△ 254	償還利子の減
予備費	27	68	41	
営業損益	△ 1,164	△ 1,536	△ 372	
経常損益	△ 857	△ 1,140	△ 283	
純損益	△ 884	△ 1,208	△ 324	
累積資金過不足額	61,485	66,704	5,219	

2-2. 収支の状況（海岸線）

（税抜、単位：百万円）

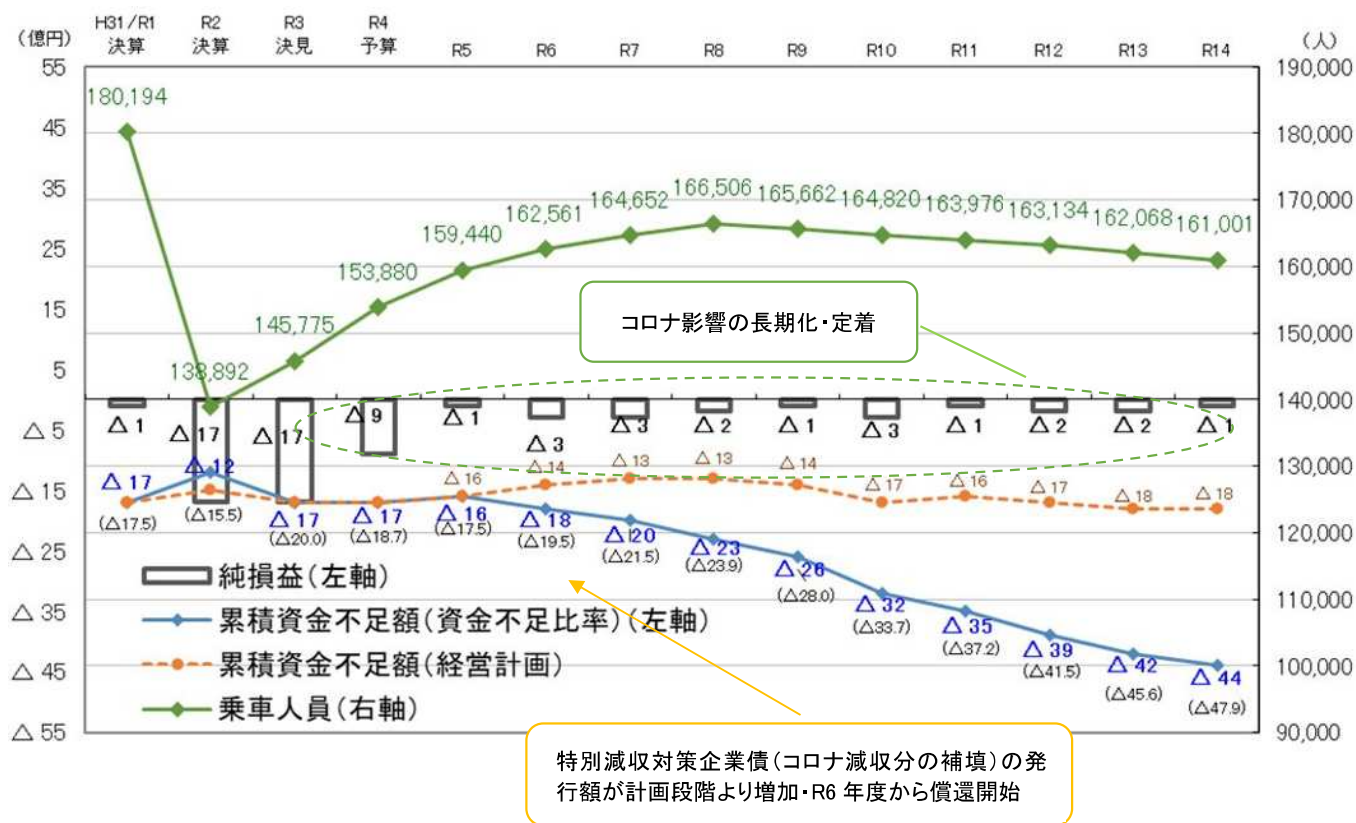
	R3年度	R4年度	差額	主な要因
収入	4,598	4,585	△ 13	
営業収入	2,319	2,359	40	
乗車料収入	2,089	2,160	71	新型コロナ影響を踏まえた収入見込み
営業外収入	2,279	2,226	△ 53	
支出	7,856	7,574	△ 282	
営業費用	6,343	6,280	△ 63	
人件費	1,274	1,248	△ 26	時間外勤務の削減
動力費	118	124	6	燃料単価の上昇
減価償却費	3,487	3,437	△ 50	固定資産償却の進行による減
営業外費用	1,495	1,271	△ 224	償還利子の減
予備費	18	23	5	
営業損益	△ 4,024	△ 3,921	103	
経常損益	△ 3,240	△ 2,966	274	
純損益	△ 3,258	△ 2,989	269	
累積資金過不足額	△ 57,661	△ 64,435	△ 6,774	

*海岸線ランニング収支：△484百万円（前年度比 53百万円の改善）

《市バス・地下鉄の収支状況と経営改善の取り組みについて》

1. 自動車事業会計

(1) 収支状況について



(2) 経営改善の取り組み

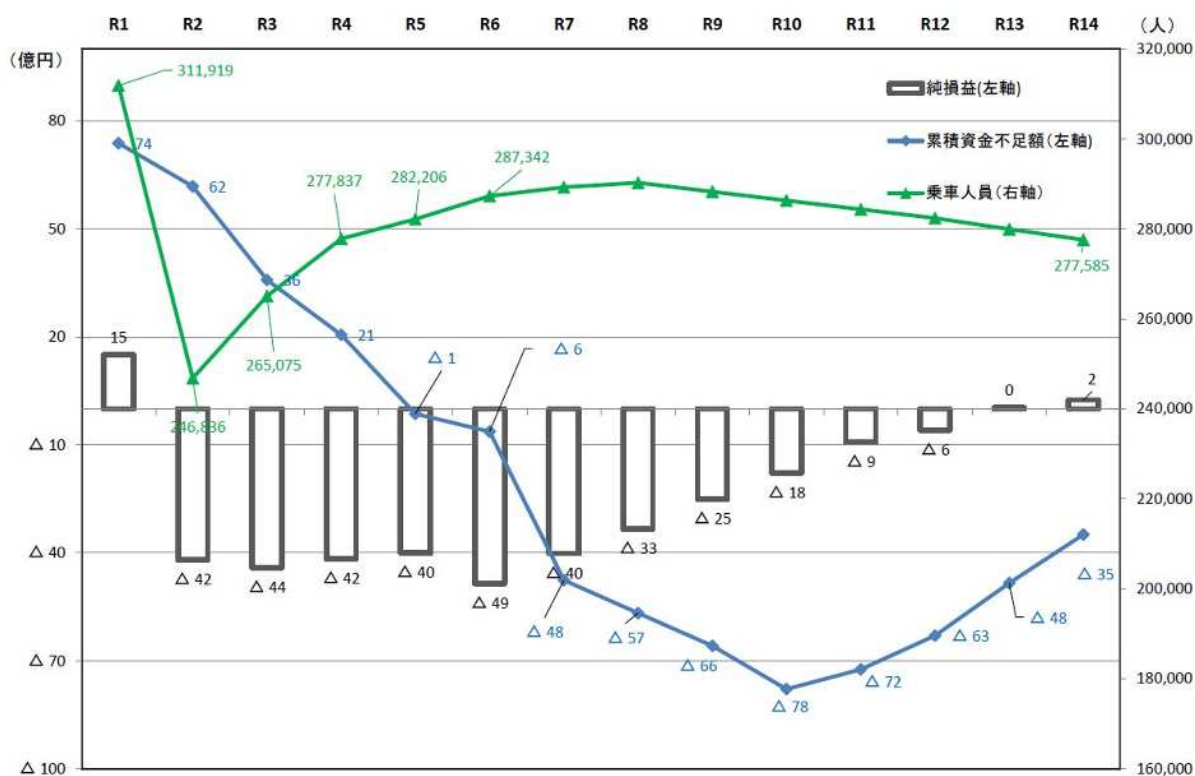
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による乗車人員の減少が想定以上であり、かつ長期化が予想されることから極めて厳しい状況 (R2～R14年度の累計減収額▲110億円)
- ・終息後も乗客数はコロナ前の水準には回復しないことを想定
- ・新型コロナウイルス感染症の終息後の収支均衡を実現するためには、昨年度末に策定した経営計画に盛り込んだ経営改善策を完遂するとともに、更なる改善策を検討・実行することが必要

【経営改善策】

- 新型コロナウイルス感染症拡大による乗車人員減に対応した減便
- 職員や営業所間ダイヤ調整による稼働率向上
- 職員の給与体系及び給料表の見直し・短時間勤務職員の活用
- 車両調達コスト削減・市バス車両使用年限の延長等の投資の抑制
- 神戸駅前市バス案内所の廃止
- その他経費の見直し

2. 高速鉄道事業会計

(1) 収支状況について



(2) 経営改善の取り組みについて

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による乗車人員の減少が想定以上、かつ長期化が予想され、極めて厳しい状況 (R2～R14 年度の累計減収額 ▲263 億円)
- ・ホームドア・新型車両導入等の大型投資の実施により大幅な赤字が継続するが、中長期的に維持可能な財政運営を計画的に実行していく

【経営改善策】

- 局採用職員の給与体系見直しおよび給料表見直し
- 地下鉄投資計画の見直し (予防保全→事後保全)、地下鉄車両更新数の削減 (△4 編成)
- 西神・山手線のワンマン運転化実施
- 駅務・乗務業務の体制見直し (駅業務については将来的に遠隔監視システム導入を検討)
- 西神車庫用地の利活用
- 電力契約の見直し・照明のLED化

令和4年度主要事業について

令和4年度主要事業

1. 安全・安心・信頼の確保

7,036,770 千円

- ・平成31年4月21日に起こした市バス重大事故を絶対に忘れず、最高の安全確保に向け総力をあげて取り組み、安全で安心な運行を徹底する。

《安全運行の徹底／安全運行を支える基盤の構築》

(1) 再発防止に向けた研修・取り組み

「4.21 三宮重大事故」を過去のものとして風化させないため、毎年4月16日～5月15日を「市バス事故ゼロ・安全安心運転推進月間」に設定し、“4月21日を忘れない取り組み”を引き続き実施する。さらに、当時の事故の状況をパネルや新聞記事等で展示した研修施設「安全の礎」を交通局内（御崎Uビル）に設置し、採用時や研修の機会等に積極的に活用することで、「二度と事故を起こさない」という意識を全ての職員に徹底する。

また、安全運行に関わる管理職等に加え、知見のある外部専門家で構成する安全対策会議において、事故分析や再発防止対策等について、多角的な視点での議論を行い、現場へフィードバックすることで、安全運行の徹底を図る。

再発防止のための市バス運転士に対する取り組み（ソフト面）並びに市バス車両に関する取り組み（ハード面）をあわせて進めていくとともに、安全報告書に具体的に記載しホームページで公表することで、市民やお客様に対して「見える化」を図る。



(2) ドライブレコーダーの更新に合わせた安全運行に対する評価の実施

現在、ドライブレコーダーの順次更新を行っており、令和4年度は75台の更新を行う。

ドライブレコーダーに搭載されている運転評価機能（デジタルタコグラフ）を使用した各市バス運転士の詳細な運転操作の把握と管理職等による添乗調査によって、安全運行に対する評価を実施する。

(3) バス停留所の安全性向上

令和2年12月に国土交通省にて公表された市内21か所の危険性や安全運行上問題のあるバス停については、国（近畿運輸局）をはじめ道路管理者や警察などの関係機関と協議して優先順位をつけながら計画的に改善等を図っており、令和4年1月現在で9か所のバス停留所を改善し、残りの12か所についても引き続き対応策を検討し改善を図る。

(4) 新型車両の導入

西神・山手線、北神線の車両全編成の更新を行う。既に契約済みの 28 編成については令和 4 年度に 6 編成を導入することで更新を完了する。合わせて、令和 5 年度には旧北神車両分として 1 編成を更新し、全車両を 6000 形（新型車両）に更新する。



▲新たに導入する 6000 形車両

(5) 西神・山手線、北神線ホームドアの設置

駅ホームからの転落や車両との接触事故を防止するため事故の防止に有効なホームドアを、西神・山手線、北神線全駅に令和 5 年度末までに設置する。なお、ホームドアの設置に伴いダイヤ改正を行う。

- ・令和 3 年度設置完了駅（3 駅）
新長田駅・西神中央駅・名谷駅
- ・令和 4 年度設置完了予定駅（10 駅）
新神戸駅・湊川公園駅・学園都市駅・板宿駅・
西神南駅・長田駅・大倉山駅・上沢駅・
伊川谷駅・総合運動公園駅
- ・令和 5 年度設置完了予定駅（3 駅）
県庁前駅・谷上駅・妙法寺駅



(6) 西神・山手線駅施設の老朽化対策

西神・山手線は開業より 40 年以上経過し、駅施設の老朽化が進んでいるため、順次改修を行っていく。令和 4 年度については、引き続き新長田駅の大規模改修および板宿駅改修の基本設計・実施設計を進めていく。

また、令和 3 年度に長田駅を美装化のモデル駅と設定し、壁や天井の清掃、再塗装や補修などを行った。さらに、令和 4 年度には、長田駅の取り組みを他の駅でも進めることで、ご利用いただきやすい駅づくりを進める。

(7) 地下鉄駅施設のユニバーサル対応の推進

ユニバーサルデザインに配慮した施設の整備を進めていく。令和 4 年度は、三宮駅東エレベーターの改造工事、湊川公園駅西口エレベーター設置工事を行うほか、妙法寺駅や上沢駅のエレベーターについても現在のバリアフリー基準に適合したエレベーターに更新を行う。

2. 快適で質の高いサービスの提供

938,193 千円

- ・より快適で、より使いやすい市バス・地下鉄とするため乗り場やダイヤの「わかりにくさ」を解消するなど、すべての人にとって、よりわかりやすく、使いやすいサービスを提供する。

《快適なサービスの提供／「わかりやすさ・使いやすさ」の提供・追求》

(1) 定期券購入の利便性向上

① 定期券購入に伴う WEB 予約サービスの導入

お客様が WEB で新規定期券の予約を行い、自動定期券発売機で発券・決済できるサービスを令和5年3月末に導入することで、定期券発売所の混雑緩和、お客様の利便性向上を図る。また、サービス開始にあたり、広報紙 KOBE や車内広告などにより利用者への周知に努めていく。



② 自動定期券発売機の設置拡充

定期券 WEB 予約サービスの導入に伴い、予約サービスで申し込んだ定期券の発券・決済を行う自動定期券発売機の設置拡充を行い、サービス利用率を高める。

- ・令和4年度設置予定駅:三宮駅・名谷駅・妙法寺駅・学園都市駅・西神南駅
西神中央駅・谷上駅(新)・阪神御影駅(新)

(2) 市バスポイントサービスの運用

令和3年4月から市バスにおける乗車ポイントサービスを開始しており、ご利用額に応じたポイントを市バス・山陽バスの乗車時にご利用いただける制度として引き続き運用するとともに、さらなる周知に努めていく。

また、市バス専用カード・市バス昼間専用カードは令和4年3月末に利用終了、市バス磁気定期券は令和3年12月末に発売終了(最長で令和4年6月末に利用終了)しており、更なる IC 化率の向上を図るため、乗車券のデジタル化など新たな施策の検討を進める。



(3) 地下鉄ポイントサービス導入による利便性の向上

より便利に使いやすいサービスとして、またIC化率の向上を目指して、令和6年度中にICカードを活用した地下鉄ポイントサービスを導入するためのシステム開発に着手する。導入にあたっては、現在の乗車券や割引サービスからの移行に加え、より効果的なポイントサービスも検討し、分かりやすく使いやすいサービスへと再編を図る。また、市バスポイントサービスや他の民間交通事業者とのシームレスな連携についても検討していく。

(検討の方向性)

- ・回数券、New Uラインカード⇒地下鉄ポイントサービスへの移行を検討
- ・地下鉄磁気定期券⇒IC定期券への移行を検討
- ・利便性の高い新たなサービスの検討

(4) お客様サービス・マナーの向上

市バスでは、お客様から寄せられるサービス・マナーに関するご意見やご要望を分析し、市バス各営業所間で情報共有するとともに、対応を協議検討し、市バス全乗務員に周知する。また、乗務員研修等で、自動車運転士ハンドブックにもとづいた接客・マナー教育を行う。さらに、管理職による添乗調査の結果に基づいた個別指導を強化するとともに、優良運転士には、表彰制度（グッドドライバー賞）や「サンキューカード」の交付によりモチベーションアップを図る。

地下鉄では、市バスと同様にお客様からのご意見等を逐次共有して改善に生かすとともに、外部講師による接客研修、定期教育訓練におけるマナー研修を引き続き実施し、市バス・地下鉄とも一層のサービス・マナー向上を図る。

(5) 地下鉄駅出入口への大型サイン（ロゴマーク）設置

地下鉄駅の地上出入口に、デザイン性にも配慮した共通デザインの大型サインを設置することで、駅の出入口をわかりやすくし、利便性の向上を図る。令和3年度に、大倉山駅への設置工事を行い、令和4年度も、引き続き他の駅への設置工事を進めていく。



▲大倉山駅の大型サイン

(6) バスの行先表示やバス停名の改善

観光のお客様や不案内なお客様にとっても分かりやすい案内表示とするために、知名度が高い施設や地名を使用した行先表示やバス停名への変更を進めていく。

【停留所名称の変更】

変更前	変更後	バス停が所在する路線名
布引	布引（新神戸駅前）	2・92系統
中央区役所前	雲井通	7・29系統
垂水体育館前	仲田南	59・171系統

(7) ホームページのリニューアル

お客様にとって、わかりやすく、アクセスしやすい案内の充実や情報発信を行うため、サイト構成を見直し、使い勝手・使い心地の良いホームページへリニューアルする。令和3年度に実施した「Urban Inovation KOBE」を活用した実証実験の結果を踏まえ、乗換案内や運行ダイヤなど、多くのお客様が求める情報に簡単に早くアクセスできるように改善することで、お客様満足度をさらに高め、市バス・地下鉄の利用促進を図る。

3. 「市民の足」の確保

1,119,638 千円

- ・「市民の足」としての役割を積極的に果たし、神戸のひとの暮らしとまちの発展を支えていくとともに、お客様の声を貴重な経営資源と捉え、もっと乗っていただけ、必要としていただける公営交通をめざす。

≪ 「市民の足」の確保・維持／もっと乗っていただける公営交通の実現 ≫

(1) 市街地中心部における移動利便性の向上策の実施（実証実験 三宮・エリア110）

三宮都心部（駅ターミナルから概ね1km圏内）において、エリア内停留所間の市バスをICカードでご乗車いただいたお客様誰もが、均一料金110円となる実証実験「三宮・エリア110」を実施する。

移動に関する新たなライフスタイルを提案することで市バス乗車機会の拡大を目指すとともに、IC化率のさらなる向上を図る。市全体で進めている三宮再整備、都心の回遊性向上とも歩調をあわせ、市のまちづくり施策に寄与する。

（目標利用人数：年間13万人の乗客増）

あわせて、市バス乗継割引について、往路と復路で料金に差異が生じないように、1乗車目の料金を上限に2乗車目の料金を割引くよう改め、より分かりやすい料金制度とする。



(2) 市バス IC カード 2 タッチ化による乗降データの活用とデータに基づく持続可能な路線バス網の構築に向けた取り組み

令和3年3月からの市バス IC カード 2 タッチ化の開始により、バスダイヤ 1 便ごとのご利用状況の把握が可能となったため、「ご利用状況の見える化」として、系統や時間帯ごとの各停留所間におけるご利用状況をホームページに公表し、市バスのご利用状況の周知を進める。

また、令和3年度中に策定予定の「データに基づく持続可能な路線バス網の構築に関する基本的な考え方」に基づき、新長田バスロータリーの整備に伴う新長田駅を中心とした

バス路線の再編など、乗降データを有効に活用したバス路線・ダイヤ編成に向けての検討を進めていく。

(3) お客様の意見の積極的な収集

市バスホームページのお問合せフォームにアクセスできる「QRコード」を主要停留所や車内に設置している「お客様の声ハガキ」に掲出し、積極的に意見や要望を募る。さらに、いただいた意見やご要望を活用し、サービスの充実を図る。



(4) 摩耶山（まやビューライン）・六甲山（六甲ケーブル）等への輸送力強化

令和3年度から運行を開始した三宮駅ターミナル前から摩耶ケーブル下までの急行便、JR六甲道から六甲ケーブル下までの急行便を引き続き運行する。運行に関しては、ゴールデンウィークや夏休み期間、秋の行楽シーズンなど観光客が多い時期に行うが、新型コロナウイルス感染症の状況にも配慮しながら、臨機応変に対応する。

系統	運行区間	内容	備考
18系統 急行便	三宮駅ターミナル前～地下鉄三宮駅前～新神戸駅前～摩耶ケーブル下	三宮から摩耶ケーブル下までの急行バスをまやビューラインの運行に合わせて運行し、摩耶山への観光客のアクセス向上を図る。 金土休：往路5本、復路4本（予定）	令和4年 4月29 日～5月 8日、
106系統 急行便	JR六甲道～神大国際文化研究科前～六甲ケーブル下	JR六甲道、阪急六甲から神大国際文化研究科前、六甲ケーブル下への急行バスを運行し、六甲山及び神戸大学へのアクセス向上を図る。 平土休：往路12本、復路9本（予定）	7月23 日～11 月30日

(5) バス路線新設および変更等

系統	運行区間	内容	備考
90系統 廃止	石屋川・石屋川車庫前～水道筋3～阪急王子公園～布引～地下鉄三宮駅前～新港町～メリケンパーク～中突堤中央ターミナル	令和3年度からポートループによるウォーターフロントエリアへのバス路線運行が開始したことに伴う路線の廃止 【参考】運行本数：平土日祝 6往復	令和4年 4月1日 実施予定
100系統 延伸	JR六甲道～水道筋3～阪急王子公園～JR灘～日赤病院からHAT神戸・灘の浜～阪急王子公園～水道筋3～JR六甲道【循環】	90系統の廃止による交通空白地の解消と利便性の向上を図るための路線の延伸 【参考】 運行本数：平土日祝 11往復 ※循環から往復路線に変更	
2系統 延伸	阪急六甲～青谷～布引～地下鉄三宮駅前～三宮センター街東口～三宮神社	磯上体育館のオープンに合わせて、一部便を「磯上公園前」に延伸 【参考】運行本数：8往復（予定）	令和4年 7月実施 予定

(6) シティー・ループ、山手線のサービス拡充

令和4年4月より、「シティー・ループ」および「山手線」については、民間事業者の自主運行として、そのノウハウを活かすことでサービス拡充を図る。

また、経済観光局・都市局等とともに事業者との連絡調整会議を設置・開催し、情報共有のうえ、適切な事業実施、さらに充実したサービスの実現に関して定期的に協議を行う。

<シティー・ループにおけるサービス拡充>

- ・神戸観光の広告塔・インフルエンサーとなる案内ガイドの添乗やダイヤの拡充
- ・2階建てオープントップバスである「SKYBUS KOBE」による、ルートや乗車券をシティー・ループと連携させた定期観光バスの運行
- ・1日乗車券（シティー・ループと Port Loop）の値下げ など

<山手線におけるサービス拡充>

- ・現在の運賃制度を継続したうえでダイヤの拡充
- ・1日乗車券の通用区間として山手線全線を追加
- ・地元商店街等との連携等 など

(7) エコファミリー制度、エコショッピング制度の継続実施

マイカー利用から公営交通利用への転換促進と子育て支援を図るため、土・日・祝日、夏季期間、年末年始に大人が同伴する小学生以下の料金を2人まで無料にするエコファミリー制度を引き続き実施するとともに、他の民間バスへの拡充として、神姫バス(株)が自主運行するシティー・ループ線への適用拡大に向けて協議を進める。

また、市バスまたは地下鉄を利用して提携した店舗や施設での催し等に出かけていただいたお客様に割引などのサービスを提供するエコショッピング制度についても引き続き実施する。

(8) 海岸線中学生以下無料化社会実験の継続

平成29年7月より実施している地下鉄海岸線中学生以下無料化社会実験を令和4年度も引き続き実施し、既設インフラの有効活用による地域活性化及び沿線地域への若年世代・子育て世帯の交流・流入・定住促進による乗客増を図る。また、将来の本格実施に向けて、有効期間の延長や交付場所の拡充を行い、利用者の利便性を高めていく。

4. 神戸のまちづくりへの貢献

1,532,681 千円

- ・神戸の公共交通ネットワークの中心的存在である交通局がリーダーシップを発揮し、市民の移動を公共交通全体で支えていくとともに、神戸市が目指す将来像に向けた施策との連携により、まちづくりや都市経営に貢献する。

《公営交通としてまちづくりに貢献／市バス・地下鉄の連携、シームレス化》

(1) 燃料電池バスの導入

水素スマートシティ神戸構想を掲げているなか、公営交通として率先して燃料電池バスを導入し、CO₂や環境負荷物質を排出しないクリーンな路線バスを運行することで、水素社会の推進に貢献する。

なお、運行にあたっては、より多くの方にご利用いただけるような運用方法を検討していく。



(2) 市内公共交通サービスのシームレス化の推進

令和3年4月から、市バス普通区IC定期券について、普通区内の神姫バスおよび連節バス（PortLoop）にも乗車できることとしているが、これに加え、期間限定として、令和4年4月からはシティー・ループ線においても、半額（130円）でご利用いただける「市バス普通区IC定期券拡大キャンペーン」を実施し、市バス普通区定期券の付加価値と市民サービスの向上を図る。

また、市バスで実施している乗継割引制度の神姫バスへの導入に向けた協議・検討を進め、市内公共交通サービスのシームレス化を推進していく。

(3) 西神・山手線拠点駅（三宮・名谷・新長田・西神中央）のリノベーション

①三宮駅東コンコースリニューアル

都心三宮再整備事業および「さんちか」のリニューアルに合わせて、西神・山手線三宮駅東コンコースの内装（床・壁・天井等）及び大型デジタルサイネージの設置などのリニューアルを行い、都心三宮の拠点駅の魅力向上を図る。令和3年度は設計に着手し、令和4年度は引き続き詳細設計を行い、工事に着手していく。

（令和5年度完成予定）



改札前から各連絡通路へのイメージ▲

②名谷駅ビルのリニューアル及び拡充（駅ビル北館の新設）

「リノベーション・神戸」の一環として、名谷駅ビルの改修にあわせ、駅の北側に駅ビル北館を新設し、テナント再編等による利便施設の拡充に取り組む。

令和4年度：北館新設工事の実施

令和5年度：北館オープン

駅ビル本体リニューアル工事着工

令和6年度：全体リニューアル完成



名谷駅ビルリニューアルイメージ▲

③新長田駅リニューアル



▲新長田駅 改修デザイン（コンコース）

拠点駅の魅力アップの観点からデザイン性を重視したリニューアル案として『「緑と光」～風に揺れる木々のゆらぎや光を抽象化した未来的な駅空間～』を市民の声を取り入れた上で決定した。令和5年度中の完成に向けて工事を進める。

④「(仮称) エキソアレ西神中央」の全館オープン

百貨店ビルは、令和4年4月に駅前商業施設「(仮称) エキソアレ西神中央」として全館リニューアルオープンする（設置・運営：双日株式会社）。2～4階に入居する予定の生活雑貨やライフスタイル型書店などの核テナントを中心にこれまで以上に魅力的な施設を目指す。



(仮称) エキソアレ西神中央店内イメージ▲

(4) 西神車庫用地の利活用

北神線の市営化による現在の3車庫体制（名谷、西神、谷上）について、車庫運用の最適化等により名谷、谷上の2車庫体制とする。今後、廃止する西神車庫用地の一部を有効活用して、西神中央エリアの活性化を図り、リノベーション神戸を推進していく。

令和4年度は、民間事業者へのサウンディング調査等を実施し、事業可能性、土地利用計画等を検討する。

- ・令和4年度：サウンディング調査等の実施
- ・令和7年度当初：西神車庫の廃止
- ・令和8年度以降：利活用の実施

(5) 伊川谷用地の利活用

伊川谷エリアの活性化に寄与するため、人口誘引施策として伊川谷駅南側の所管用地の活用方法を見直し、集合住宅等の誘致を検討する。

- ・令和4年度：事業者公募の準備、都市計画変更
- ・令和5年度：事業者公募、選定
- ・令和6年度以降：選定事業者による工事設計・着工

(6) 海岸線の集客増対策や地域活性化への貢献

沿線に人が集まり、地域が元気になるよう、地域の活性化や応援を図る取り組みを他部局や地域のキーマンと連携して実施し、乗客増につなげる。また、兵庫津ミュージアムのグランドオープンやこども家庭センター・こべっこランドの移転・オープンによる新たな人の動きに呼応して、ふさわしい駅の雰囲気づくりを進めていくとともに、企画乗車券の発売やイベントなど連携事業を実施し、海岸線の魅力向上とPRを図る。

(7) 北神地域の地域活性化への貢献

谷上駅周辺の店舗や神戸電鉄との連携を一層深めていくことで、谷上駅の拠点化、北神地域の活性化に貢献していく。乗車券と地域の飲食店や施設で利用できる金券・優待券がセットになった「有馬グルメ&湯けむりチケット」「有馬温泉太閤の湯クーポン」等企画乗車券の発売のほか、ハイキング等イベントの実施により北神地域と神戸市街地との交流を促進する。

5. 安定的な経営基盤の確立

1,294,104千円

- ・職員一人ひとりが、公共交通の役割を理解し、圧倒的当事者意識を持って主体的に行動するとともに、めざすべき目標を共有しながら実行するべく組織力を強化する。また、交通サービスを持続的に提供し続けていくために必要な経営基盤を構築するとともに、計画の進捗状況の評価・検証、進行管理を徹底し確実な実行をはかる。

《次世代を支える人材の確保・育成／安定的な経営を支える基盤の構築》

(1) 乗客増加対策の推進

民間事業者と連携した利便性向上策など、新たな乗客増加対策を検討・実施するとともに、引き続き、沿線地域の企業や店舗と連携したイベントの実施など乗客増加対策を実施・検討する。

- ・市街地中心部における移動利便性の向上策（三宮・エリア110）の実施（再掲）
- ・地下鉄ポイントサービス導入による利便性の向上（再掲）
- ・摩耶山・六甲山等への輸送力強化のための急行バスの運行（再掲）
- ・海岸線及び北神線の乗客増対策の実施（再掲）
- ・拠点駅のリノベーションや保有用地の利活用（再掲）
- ・スマホアプリを活用した乗車券やイベントの実施

- ・スタンプラリーや謎解き等沿線地域への周遊性を持たせたイベントの開催
- ・映画やドラマ等とタイアップした SNS キャンペーン 等
- ・沿線スポーツチームと連携した企画の実施

(2) デジタルサイネージの設置拡充

広告料収入の拡大や駅舎のイメージアップに向けて、乗客数の多い三宮駅や JR と連絡する新長田駅において、駅施設のリニューアル工事にあわせてデジタルサイネージを設置する。



▲三宮駅大型サイネージ設置予定箇所



▲新長田駅サイネージ設置予定箇所

(3) 将来の公営交通を担う人材の確保・育成

採用要件の緩和を実施したほか、短時間勤務職員の活用を引き続き行うなど、市民の足として安定的な運行を継続していくために幅広い人材を確保する。また、女性の市バス運転士確保に向けた設備面の整備、採用広報としてセミナーへの参加やパンフレットの作成を行う。

加えて、新たに交通事業に専属で従事することを想定した一般行政職員の募集を行うほか、将来の交通事業の中核を担う職員の人材育成として、安全意識やサービス向上を目的とした研修や、現場の管理監督業務に従事する職員を対象とした研修などに取り組む。

(4) 軌道変位モニタリングシステムの導入

令和3年度から IT 技術を活用した軌道変位モニタリングシステムの導入に取りかかっており、軌道（レール）検査業務等の省力化・効率化を図っていく。令和4年度は測定装置の製作、令和5年度に本線での試運転を行い令和6年度の運用を目指す。

(5) 市バス営業所の管理委託の継続

市バス事業における経営改善策として営業所の管理委託を継続する。

令和4年度をもって現在の委託契約期間を満了する中央南営業所については、令和5年度から令和9年度までの5年間を契約期間とする提案競技を実施し、受託事業者を改めて選定する。

(スケジュール)

- | | |
|---------------|-----------|
| ・募集要項の配布 | 令和4年9月頃 |
| ・応募提案書類の受付 | 令和4年10月頃 |
| ・受託候補者の選定 | 令和4年11月以降 |
| ・近畿運輸局への許可申請 | 令和5年1月頃 |
| ・選定事業者による業務開始 | 令和5年4月1日 |

(現在の委託状況)

委託営業所	受託事業者	期間
魚崎営業所	阪急バス(株)	令和4年度～令和8年度
中央南営業所	神姫バス(株)	平成30年度～令和4年度
松原営業所	阪急バス(株)	令和4年度～令和8年度
落合営業所	神姫バス(株)	令和4年度～令和8年度
清水が丘営業所	山陽バス(株)	令和2年度～令和6年度
西神営業所	神姫バス(株)	令和4年度～令和8年度

(6) 神戸交通振興(株)の解散に伴う円滑な業務の実施

神戸交通振興(株)の解散に伴い、各業務を後継事業者等において着実に引継ぐとともに、円滑に継続実施していく。

業務	対応
・ 駅ビル管理等の不動産業務 (駅ビル・駅構内事業等)	・ (株)OMこうべに不動産業務を集約 ※神戸交通振興(株)所有の建物については交通局が取得
・ 観光バス (シティー・ループ) ・ 路線バス (山手線・山麓線)	・ シティー・ループは神姫バス(株)、神姫観光(株)により運行 ・ 山手線は神姫バス(株)により運行 ・ 山麓線は交通局により運行
・ 地下鉄駅務業務 (西神・山手線、海岸線)	・ 近畿日本鉄道(株)に委託
・ 市バス車両整備業務 (車両工場、直営3営業所車庫)	・ 市バス整備部門に統合し、直営化
・ 定期券発売所 (三宮駅・新長田駅・名谷駅・神戸駅前営業所)	・ 神姫バス(株)に委託
・ 広告事業	・ 阪急阪神マーケティングソリューションズ(株)に委託

(今後のスケジュール)

- ・ 令和4年3月31日：神戸交通振興(株)のすべての事業を終了
- ・ 令和4年4月1日：次期事業者等による業務の開始
- ・ 令和4年4月末：解散、清算開始

(7) 経営計画の推進

経営計画に掲げた目標や取り組み事項について、その進捗状況を常に評価・検証を繰り返し、進行管理を徹底していくことで、着実な実行を図る。

《地下鉄・市バスのダイヤ改正について》

(1) ホームドア設置に伴うダイヤ改正

西神・山手線、北神線へのホームドアの設置に伴い、各駅における停車時間が数秒ずつ増加することから、令和4年6月にダイヤ改正を実施する。

三宮到着時間	現状	ダイヤ改正後
7:00～7:30	6	6 (－)
7:30～8:00	9	8 (△1)
8:00～8:30	10	9 (△1)
8:30～9:00	9	8 (△1)
合計	34	31 (△3)

(2) 新型コロナウイルス感染症拡大によるご利用状況に応じた減便の実施

市バスでは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うライフスタイルの変化により、利用者が減少傾向にあり、今後も感染拡大前のご利用状況に回復する見込みが少ないことから、令和4年4月1日より、ご利用状況に応じた減便やダイヤの改正を行う。なお、ご利用状況が復元した路線については再度増便を行うなど見直しを検討する。

運行本数合計 (平日) R3年度：5,835本 → R4年度：5,549本 (△5%程度)

系統	運行区間	内容	備考
2系統	阪急六甲～青谷～布引～地下鉄三宮駅前～三宮神社(元町1丁目)	往路10本、復路11本減便 平日：往路172本 → 162本 復路174本 → 163本	令和4年4月1日実施
3系統	吉田町1～東尻池2～名倉町～新開地～吉田町1	往路10本、復路10本減便 平日：往路72本 → 62本 復路71本 → 61本	
5系統	若草町～広畑橋～板宿～新長田駅前～板宿～明神町～若草町	往路7本減便 平日：66本 → 59本	
7系統	市民福祉交流センター前三宮駅前～平野～新開地～神戸駅前	往路6本、復路7本減便 平日：往路105本 → 99本 復路105本 → 98本	
11系統	神戸駅前～新開地～房王寺町5～宮川町9～五位ノ池～板宿	往路14本、復路14本 平日：往路83本 → 69本 復路81本 → 67本	
19系統	阪神御影～城ノ前～阪急御影～甲南病院前～鴨子ヶ原(循環)	往路6本減便 平日：往路63本 → 57本	
21・22・28(循環)系統	西神中央駅前～美賀多台・榎野台～春日台～西神中央駅前	往路1本 平日：往路50本 → 49本	
21・22・28系統※	西神中央駅前～美賀多台・榎野台～西体育館	往路21本、復路14本減便 (うち、市バス 往路21本 復路14本減便) 平日：往路196本 → 175本 (市バス109本→88本) 復路210本 → 196本 (市バス121本→107本)	
31系統	JR甲南山手～JR本山駅前～岡本9～白鶴美術館前～渦森台	往路6本、復路6本減便 平日：往路41本 → 35本 復路43本 → 37本	

系統	運行区間	内 容
35 系統	魚崎車庫前～阪神御影南口～魚崎車庫前	往路 4 本減便 平日：往路 33 本 → 29 本
38 系統	阪神御影～東灘区役所前～白鶴美術館前～渦森台	往路 4 本、復路 6 本減便 平日：往路 67 本 → 63 本 復路 72 本 → 66 本
51 系統※	舞子駅前～東舞子小学校前～星陵台～県商前～舞子高校前～学園都市駅前	往路 2 本、復路 8 本減便 (うち、市バス 往路+3 本、復路+4 本) 平日：往路 85 本 → 83 本 (市バス 26 本 → 29 本) 復路 89 本 → 81 本 (市バス 29 本 → 33 本)
53 系統※	舞子駅前～本多聞 5 ～舞子高校前～学が丘～学園都市駅前	往路 5 本、復路 12 本減便 (うち、市バス 往路 3 本 復路 11 本減便) 平日：往路 123 本 → 118 本 (市バス 78 本 → 75 本) 復路 129 本 → 117 本 (市バス 83 本 → 72 本)
54 系統※	舞子駅前～公団住宅前～多聞団地センター～学園都市駅前	往路 4 本、復路 7 本減便 (うち、市バス 往路 8 本 復路 8 本減便) 平日：往路 103 本 → 99 本 (市バス 51 本 → 43 本) 復路 97 本 → 90 本 (市バス 51 本 → 43 本)
55・58 系統※	朝霧駅前～明舞センター～神陵台(～伊川谷高校前)	往路 13 本、復路 11 本減便 (うち、市バス 往路 2 本、復路 3 本減便) 平日：往路 102 本 → 89 本 (市バス 34 本 → 32 本) 復路 96 本 → 85 本 (市バス 33 本 → 30 本)
64 系統	三宮駅ターミナル前(三宮駅前)～新神戸駅前～箕谷駅前～神戸北町	往路 5 本、復路 8 本減便 平日：往路 114 本 → 109 本 復路 128 本 → 120 本
70 系統	名谷駅前～白川台センター～白川台	往路 14 本、復路 10 本減便 平日：往路 85 本 → 71 本 復路 88 本 → 78 本
73 系統	名谷駅前～北須磨団地～友が丘～妙法寺駅前	往路 12 本、復路 12 本 平日：往路 92 本 → 80 本 復路 92 本 → 80 本
77 系統	名谷駅前～須磨東高校前～白川台 4 ～北落合 2 ～名谷駅前	往路 9 本減便 平日：105 本 → 96 本
78 系統	名谷駅前～竜が台 7 ～南落合 4 ～須磨東高校前～名谷駅前	往路 8 本減便 平日：70 本 → 62 本
81 系統	須磨一の谷～新長田駅前～須磨一の谷	往路 7 本減便 平日：49 本 → 42 本
92 系統	石屋川車庫前～水道筋 3 丁目～三宮センター街東口～三宮神社(元町 1 丁目)	往路 8 本、復路 8 本減便 平日：往路 99 本 → 91 本 復路 99 本 → 91 本

※21・22・28 系統は神姫バスとの運行本数の合計

※51・53・54・55・58 系統は山陽バスとの運行本数の合計

※山陽バス 48 系統については、往路 1 本・復路 4 本の減便を予定(市バス 171 系統に変更なし)

《市バスご利用状況の見える化について》

1. 路線ごとのご利用状況のイメージ

集計期間 令和3年11月1日～令和3年11月30日



2系統平日 往路 車内人員	JR六甲道	六甲口	阪急六甲	六甲登山口	篠原本町2	篠原本町3	護国神社前	五毛	五毛天神	観音寺	神戸高校前	青谷橋	青谷	籠池通3	野崎通3	野崎通5	熊内5	熊内6	布引	加納町2	加納町3	地下鉄三宮駅	三宮センター	市役所前	三宮神社
5時台																									
6時台				4	4	5	5	6	9	11	13	14	17	22	28	31	32	36	36	32	33	32	8		
7時台				26	27	27	28	29	32	34	35	26	28	18	22	22	24	28	29	25	27	27	10	7	4
8時台				15	16	17	17	18	21	23	23	22	23	14	16	16	17	19	20	19	20	19	9	7	5
9時台		3	3	6	7	8	8	9	10	12	13	13	14	14	16	18	19	21	22	21	22	21	9	6	5
10時台		8	9	9	10	10	11	12	13	14	15	15	16	16	18	21	22	25	26	25	26	25	10	6	5
11時台				10	11	11	12	12	12	13	13	12	13	13	15	19	21	23	23	23	24	24	9	6	5
12時台		11	12	15	15	15	15	16	15	15	15	15	15	15	17	20	21	23	24	23	24	23	8	5	4
13時台				10	10	10	10	10	10	11	10	10	11	11	11	13	13	15	16	15	16	15	6	5	4
14時台		12	13	14	14	14	14	14	13	13	13	13	14	15	17	19	20	22	22	21	21	21	7	4	3
15時台		12	12	12	12	12	13	12	11	12	15	19	23	27	29	34	35	35	35	30	30	30	6	3	2
16時台		11	11	17	18	18	18	17	15	14	16	19	21	26	30	38	39	39	40	33	34	33	7	4	3
17時台				14	15	15	15	14	13	12	12	15	16	18	20	27	28	29	29	24	24	24	4	2	1
18時台				17	18	18	18	16	14	13	12	16	15	16	17	24	26	26	25	22	22	22	3	1	1
19時台				18	19	19	18	16	13	11	10	10	8	6	7	9	10	10	10	9	9	9	1	1	0
20時台				19	19	19	18	16	12	10	8	8	7	5	5	7	7	7	6	6	6	6	1		
21時台				17	18	17	17	15	11	10	8	7	6	4	4	5	5	5	4	4	4	4	0		
22時台				18	18	18	17	15	11	10	7	6	5	4	3	4	4	4	3	3	3	3	0		
23時台																									

※2系統における期間内における平日の平均車内乗車人員数を記載

2. 路線ごとのご利用状況のイメージ

柳原 Yanaiwara		停留所発車予定時刻表	
行先 Destination		95 松原通 経由 新長田駅前 Shinnagata Sta. via Matsubaradori	
時	平日 Weekdays	土曜・日祝 Saturdays and Holidays	
5			
6 45		45	
7 25		25	
8 03 43		03 43	
9 03 23		03 23	
10 03 43		03 43	
11 03 23		03 23	
12 03 43		03 43	
13 03 23		03 23	
14 03 43		03 43	
15 23		23	
16 03 23 43		03 23 43	
17 23		23	
18 03 23 43		03 23 43	
19 23 58		23 58	
20 38		38	
21 05		05	
22 17		17	
23			

営業係数を記載

令和 2年 4月 1日改正

100円の収入を得るために必要な費用 95系統 313

ご利用状況を案内するQRコード

市バスご利用状況はこちら



お問い合わせは松原営業所 652-0586まで



市バス・地下鉄の利用者は
大幅に減少
経営環境が激変

令和2年1月まではほぼ前年並み
3月までの対前年(H30)比お客様数(人/日)
市バス：817人減 [-0.4%]
地下鉄：3,296人増 [+1.0%]

コロナの影響により
3月以降のお客様数は大幅に減少
3月の対前年(H30)比お客様数(人/日)
市バス：22,121人減 [-13.0%]
地下鉄：48,586人減 [-16.1%]

R3年度決算も
大幅な赤字の見込み！！
市バス：20億円 赤字
地下鉄：47億円 赤字

反転する緊急事態宣言により
依然として鈍い回復状況
4～12月の対H30年比お客様数(人/日)
市バス：43,047人減 [-23.0%]
地下鉄：53,768人減 [-16.9%]

12月の対H30年比のお客様
市バス：通勤定期 △12.6%
通学定期 △26.7% 定期外 △17.24%
地下鉄：通勤定期 △8.3%
通学定期 △1.3% 定期外 △12.71%

R4年度以降
お客様数がコロナ前より
回復の見通しは不透明

R4

かつてない
経営危機を
乗り越える
ために！

用状況に応じた
市バスダイヤの見直し
データに基づく路線・ダイヤ

性や快適性の
向上に向けた改革
ア稼働に伴う地下鉄ダイヤ

の推進
ード・定期券のIC化と
ポイントサービスの導入
における感染症対策の

市バス・地下鉄の
路線・ダイヤの維持が
さらに困難になる
可能性があります

Withコロナ時代の市民生活を支えるために
より一層の経営改善を進めてまいります

市民の皆さまには、市バス・地下鉄の
更なるご利用をお願いいたします！

参 考 资 料

令和4年度予算（案）の概要（自動車事業会計）

1. 予定業務量

区 分	3年度予算 (1)	4年度予算 (2)	増△減 (2)－(1)	伸び率 (%)	備 考	
営業キロ程(km)	377.3	375.5	△1.8	△0.5		
在籍車両数(両)	514	473	△41	△8.0		
運転車両数(両)	161,263	161,134	△129	△0.1		
運転走行キロ(千km)	17,258	16,370	△888	△5.1		
乗車人員(千人)	54,164	56,802	2,638	4.9	敬老・福祉乗車人員等を含む	
乗車料収入(千円)	9,157,149	9,269,376	112,227	1.2	敬老・福祉乗車負担金等を含む	
営業日数(日)	365	365	0	0.0		
一 日 平 均	運転車両数(両)	442	441	△1	△0.2	
	運転走行キロ(km)	47,281	44,850	△2,431	△5.1	
	乗車人員(人)	148,395	155,622	7,227	4.9	
	乗車料収入(千円)	25,088	25,396	308	1.2	

2. 収支計画

(単位:千円、税込)

区 分		3年度予算	4年度予算	予算比較 (伸び率 %)	内訳	(比較増△減)
収 入 的 収 支	営 業 収 益	9,448,359	9,870,758	422,399 (4.5)		
	うち乗車料収入	9,157,149	9,573,442	416,293 (4.5)		
	定期・定期外	6,295,813	6,637,709	341,896 (5.4)	定期外 定期	3,998,917 (430,849) 2,638,792 (△ 88,953)
	敬老パス 利用者負担	1,140,266	1,018,713	△ 121,553 (△ 10.7)	IC利用者負担 定期利用者負担	887,246 (△ 67,175) 131,467 (△ 54,378)
	他会計負担金	1,721,070	1,917,020	195,950 (11.4)	敬老バス負担金 福祉バス等負担金	991,186 (△ 66,408) 925,834 (262,358)
	営 業 外 収 益	1,028,528	1,392,270	363,742 (35.4)	営業収益その他	297,316 (6,106)
	うち一般会計補助金	809,904	1,310,672	500,768 (61.8)	基準内 基準外	209,916 (33,736) 1,100,756 (467,032)
	うち長期前受金戻入	9,686	10,000	314 (3.2)	長期前受金戻入	10,000 (314)
	特 別 利 益	-	-	0	営業外収益その他 営業外収益他会計繰入金 固定資産売却益	68,598 (28,660) 3,000 (△ 166,000) 0 (0)
	計	10,476,887	11,263,028	786,141 (7.5)		
	営 業 費 用	11,173,033	11,763,884	590,851 (5.3)		
	人 件 費	3,460,175	3,738,925	278,750 (8.1)	給与(退職金以外) 退職給付引当金繰入	3,460,663 (205,253) 278,262 (73,497)
	経 費	7,241,373	7,591,589	350,216 (4.8)	燃料費 修繕費 営業所管理委託 嘱託人件費 保険料 その他	914,694 (122,690) 375,965 (△ 269,956) 5,143,337 (408,211) 93,834 (10,852) 86,581 (△ 1,647) 977,178 (80,066)
	減 価 償 却 費	471,485	433,370	△ 38,115 (△ 8.1)		
営 業 外 費 用	261,704	245,271	△ 16,433 (△ 6.3)	支払利息及び諸費 消費税	62,558 (0) 199,146 (0)	
出 特 別 損 失	-	-	-			
予 備 費	50,000	100,000	50,000 (100.0)			
計	11,484,737	12,109,155	624,418 (5.4)			
営 業 損 益 (税 抜)	△ 1,799,043	△ 1,963,768	△ 164,725 (△ 9.2)			
経 常 損 益 (税 抜)	△ 970,787	△ 811,755	159,032 (16.4)			
純 損 益 (税 抜)	△ 1,016,242	△ 902,665	113,577 (11.2)			
累 積 損 益 (税 抜)	△ 2,466,058	△ 3,368,723	△ 902,665 (△ 36.6)			
資 本 的 収 支	収 入	546,735	907,110	360,375 (65.9)	企業債 補助金 他会計繰入、財産収入等	710,000 (319,000) 30,000 (30,000) 167,110 (11,375)
支 出	679,934	1,281,162	601,228 (88.4)	建設改良費 投資 企業債償還金	740,309 (349,071) 1,054 (1,054) 339,799 (71,103)	
収 支 差 引	△ 133,199	△ 374,052	△ 240,853 (△ 180.8)	予備費	200,000 (180,000)	
累 積 資 金 過 不 足 額	△ 1,717,696	△ 1,717,696	0 (0.0)			
資 金 不 足 比 率 (%)	△ 19.6	△ 18.8	0.8 (4.1)			

3. 参考資料

(1) 1日あたり乗客数の推移

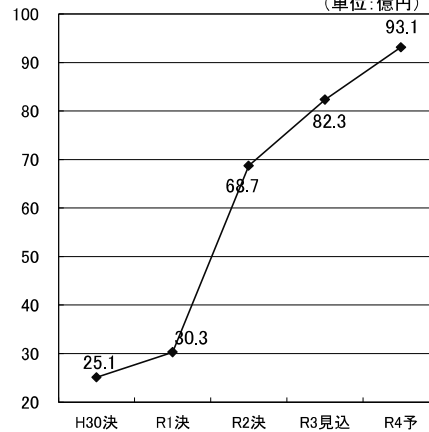
(単位：人)

	2年度決算	3年度予算	4年度予算
有料乗車	126,119	105,414	108,938
敬老パス	34,868	28,776	31,542
福祉バス等	17,929	14,205	15,142
合計	178,916	148,395	155,622

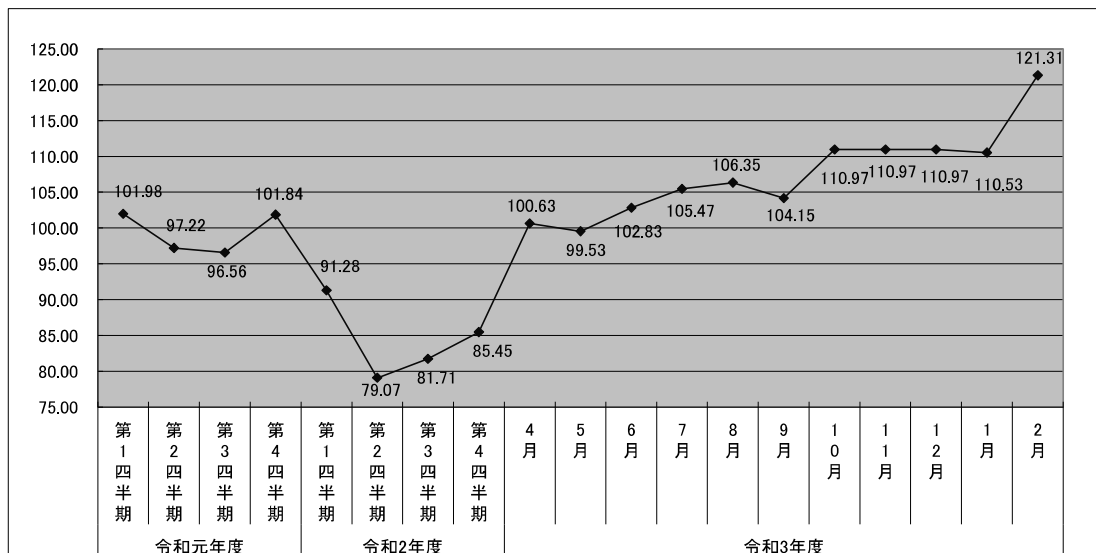
※有料乗車は、定期・定期外の乗車人数

(2) 年度末企業債残高の推移

(単位：億円)



(3) 軽油価格の推移



令和元年度	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	101.98		97.22		96.56		101.84	
令和2年度	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	91.28		79.07		81.71		85.45	
令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
	100.63	99.53	102.83	105.47	106.35	104.15	110.97	110.97
							12月	1月
							110.97	110.53
								2月
								121.31

(4) 一般会計からの繰入金の状況

(単位：千円)

		充当項目	3年度予算	4年度予算
収益的収入	(基準内)	児童手当繰入金等	176,180	209,916
	(基準外)	経営改善促進補助金等	633,724	1,100,756
合計			809,904	1,310,672

(5) 令和4年度神戸市自動車事業会計予定貸借対照表

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	17,736,549	固 定 負 債	11,657,963
運送施設有形固定資産	35,220,462	企 業 債	8,684,446
減価償却累計額	△ 17,590,145	引当金(退職給付引当金)	2,767,166
計	17,630,317	そ の 他 固 定 負 債	206,351
関連施設有形固定資産	163,286	流 動 負 債	4,863,304
減価償却累計額	△ 102,399	一 時 借 入 金	1,100,000
計	60,887	企 業 債	543,559
運送施設無形固定資産	13,632	未 払 金	2,034,405
関連施設無形固定資産	6,671	前 受 金	900,986
投 資	25,042	預 り 金	21,694
流 動 資 産	2,601,836	引当金(賞与等引当金)	243,051
現 金 預 金	586,362	そ の 他 流 動 負 債	19,609
未 収 金	1,992,947	繰 延 収 益	223,301
貯 蔵 品	22,527	長 期 前 受 金	2,431,814
		収 益 化 累 計 額	△ 2,208,513
		資 本 金	4,709,329
		自 己 資 本 金	
		自 己 資 本 金	4,709,329
		剰 余 金	△ 1,115,512
		資 本 剰 余 金	3,090,553
		利 益 剰 余 金	△ 4,206,065
		未 処 分 利 益 剰 余 金	△ 4,206,065
合 計	20,338,385	合 計	20,338,385

令和4年度予算（案）の概要（高速鉄道事業会計）

1. 予定業務量

区 分	令和3年度予算 (1)	令和4年度予算 (2)	増△減 (2) - (1)	伸び率 (%)	備 考	
営業キロ程(km)	38.1	38.1	-	-		
在籍車両数(両)	238	238	-	-		
運転走行キロ(千km)	22,327	22,357	30	0.1		
乗車人員(千人)	97,332	100,412	3,080	3.2	敬老・福祉乗車 人員等を含む	
乗車料収入(千円)	18,295,155	18,695,646	400,491	2.2	敬老・福祉乗車 負担金等を含む	
営業日数(日)	365	365	-	-		
一 日 平 均	運転走行キロ(km)	61,170	61,251	81	0.1	
	乗車人員(人)	266,663	275,102	8,439	3.2	
	西神・山手・北神線	222,823	229,666	6,843	3.1	
	海 岸 線	43,840	45,436	1,596	3.6	
	乗車料収入(千円)	50,124	51,221	1,097	2.2	
	西神・山手・北神線	43,889	44,774	885	2.0	
	海 岸 線	6,235	6,447	212	3.4	

2. 収支計画（全線）

(単位:千円、税込)

区分		3年度予算	4年度予算	予算比較 (伸び率 %)	内 訳	(比較増△減)	
収益的収支	収入	営業収益	20,241,659	20,776,434	534,775 (2.6)		
		運輸収入	16,858,125	17,130,862	272,737 (1.6)		
		定期・定期外	16,043,612	16,369,365	325,753 (2.0)	定期外 定期	8,466,212 (487,459) 7,903,153 (△ 161,706)
		敬老パス 利用者負担	814,513	761,497	△ 53,016 (△6.5)	IC利用者負担 定期利用者負担	698,055 (△ 51,564) 63,443 (△ 1,450)
		他会計負担金	1,437,030	1,564,784	127,754 (8.9)		
		その他	1,946,504	2,080,788	134,284 (6.9)	広告料等運輸雑収入 付帯事業収入	1,272,984 (△ 46,064) 807,804 (180,348)
	営業外収益	3,636,332	3,417,727	△ 218,605 (△6.0)			
	一般会計補助金	1,499,565	1,470,781	△ 28,784 (△1.9)	特例債元金補助金 企業債特別分利子補助金 その他	632,481 (37,500) 328,380 (△ 55,137) 509,920 (△ 11,147)	
	長期前受金戻入	1,996,020	1,936,015	△ 60,005 (△3.0)	西神・山手線・北神線 海岸線	464,999 (△ 40,177) 1,471,016 (△ 19,828)	
	その他	140,747	10,931	△ 129,816 (△92.2)	基金繰入金 受取利息 その他	2,000 (△ 121,000) 57 (△ 26) 8,874 (△ 8,790)	
	計	23,877,991	24,194,161	316,170 (1.3)			
	支出	営業費用	24,315,877	25,097,641	781,764 (3.2)		
		人件費	6,348,242	6,170,844	△ 177,398 (△2.8)	給与(退職給付引当金以外) 退職給付引当金繰入	5,810,290 (△ 144,793) 360,554 (△ 32,605)
		経費	7,258,939	7,636,727	377,788 (5.2)	動力費 電気代 修繕費 その他	841,848 (47,874) 627,454 (10,400) 1,792,335 (134,651) 4,375,090 (184,863)
		減価償却費	10,708,696	11,290,070	581,374 (5.4)		
		営業外費用	2,512,368	2,032,688	△ 479,680 (△19.1)		
		支払利息及び諸費	2,343,368	2,030,688	△ 312,680 (△13.3)	企業債利子 企業債諸費	1,957,454 (△ 284,617) 73,234 (11,937)
	その他	169,000	2,000	△ 167,000 (△98.8)	他会計繰出金	2,000 (△ 167,000)	
	予備費	50,000	100,000	50,000 (100.0)			
	計(ア)	26,878,245	27,230,329	352,084 (1.3)			
営業損益(税抜)	△5,187,998	△5,457,400	△ 269,402 (5.2)				
経常損益(税抜)	△4,096,642	△4,106,679	△ 10,037 (0.2)				
純損益(税抜)	△ 4,142,097	△ 4,197,588	△ 55,491 (1.3)				
累積損益(税抜)	△ 81,499,901	△ 85,697,489	△ 4,197,588 (5.2)	企業債 特例債 資本費平準化債 出資金 補助金 その他	16,908,000 (4,206,000) 339,000 (△ 76,000) 0 (0) 4,350,000 (1,431,000) 3,591,070 (399,195) 354,402 (△ 770,700)		
資本的収支	収入	20,352,977	25,542,472	5,189,495 (25.5)	建設改良費 企業債元金償還金 他会計繰出金	22,128,991 (5,289,947) 11,949,516 (382,051) 337,180 (182,940)	
	支出(イ)	28,985,851	34,800,089	5,814,238 (20.1)			
	収支差引	△ 8,632,874	△ 9,257,617	△ 624,743 (7.2)			
単年度資金余剰	△ 2,307,808	△ 1,553,701	754,107 (△32.7)				
累積資金過不足	3,823,233	2,269,532	△ 1,553,701 (△40.6)				

3. 参考資料

(1) 収支計画（線別）

(単位:百万円、税込)

区 分		西 神 ・ 山 手 線 、 北 神 線			海 岸 線			
		3年度予算	4年度予算	比 較	3年度予算	4年度予算	比 較	
收 益 的 的 收 支	收 入	営 業 収 益	17,712	18,205	493	2,529	2,571	42
		うち乗車料収入	16,019	16,343	324	2,276	2,352	76
		定期・定期外	14,071	14,329	258	1,973	2,040	67
		敬老バス利用者負担	728	685	△ 43	86	76	△ 10
		他会計負担金	1,220	1,329	109	217	236	19
	営 業 外 収 益	1,357	1,192	△ 165	2,279	2,226	△ 53	
	うち一般会計補助金	716	718	2	784	753	△ 31	
	うち長期前受金戻入	505	465	△ 40	1,491	1,471	△ 20	
	計	19,069	19,397	328	4,808	4,797	△ 11	
	支 出	営 業 費 用	17,826	18,673	847	6,490	6,425	△ 65
		人 件 費	5,072	4,922	△ 150	1,276	1,249	△ 27
		経 費	5,532	5,897	365	1,727	1,740	13
		減 価 償 却 費	7,222	7,854	632	3,487	3,436	△ 51
営 業 外 費 用		880	766	△ 114	1,633	1,267	△ 366	
うち支払利息及び諸費		853	764	△ 89	1,491	1,267	△ 224	
予 備 費		30	75	45	20	25	5	
計	18,736	19,514	778	8,143	7,717	△ 426		
営 業 損 益 (税 抜)		△ 114	△ 468	△ 354	△ 3,961	△ 3,854	107	
経 常 損 益 (税 抜)		△ 857	△ 1,140	△ 283	△ 3,240	△ 2,967	273	
純 損 益 (税 抜)		△ 884	△ 1,208	△ 324	△ 3,258	△ 2,989	269	
累 積 損 益 (税 抜)		28,757	27,549	△ 1,208	△ 110,257	△ 113,246	△ 2,989	
資 本 的 的 收 支	收 入	15,525	19,456	3,931	4,828	6,086	1,258	
	うち企業債	11,339	14,508	3,169	1,778	2,739	961	
	うち出資金	2,544	3,725	1,181	375	625	250	
	うち補助金	517	869	352	2,675	2,722	47	
	支 出	18,256	22,720	4,464	10,729	12,080	1,351	
	うち建設改良費	14,963	19,001	4,038	1,876	3,127	1,251	
	うち企業債償還金	2,714	3,027	313	8,853	8,923	70	
收 支 差 引	△ 2,731	△ 3,264	△ 533	△ 5,901	△ 5,994	△ 93		
累 積 資 金 過 不 足 額		61,485	66,704	5,219	△ 57,661	△ 64,434	△ 6,773	

(2) 1日あたり乗客数の推移

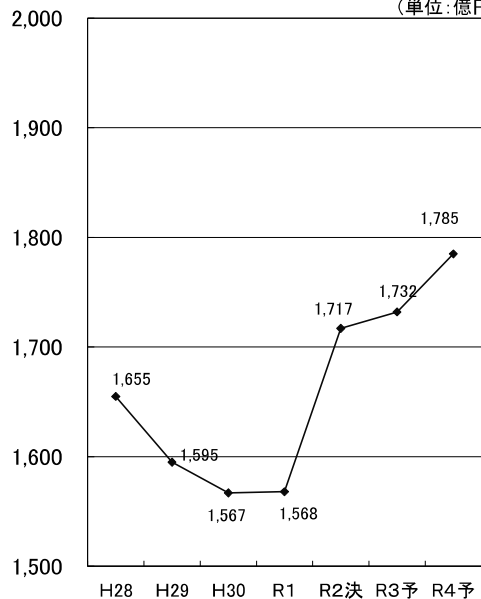
(単位:人/日)

	元年度決算	2年度決算	3年度予算	4年度予算
有 料 乗 車	西神・山手・北神線	228,086	182,944	198,273
	海 岸 線	44,987	37,648	39,441
	計	273,073	220,592	237,714
敬 老 パ ス	西神・山手・北神線	18,090	12,164	14,942
	海 岸 線	3,020	2,063	2,322
	計	21,110	14,227	17,264
福 祉 パ ス 等	西神・山手・北神線	14,391	9,756	9,608
	海 岸 線	3,345	2,261	2,077
	計	17,736	12,017	11,685
西神・山手・北神線 計	260,567	204,864	222,823	229,666
海 岸 線 計	51,352	41,972	43,840	45,436
合 計	311,919	246,836	266,663	275,102

※有料乗車は、定期・定期外の乗車人数

(3) 年度末企業債残高の推移

(単位:億円)



(4) 一般会計からの繰入金の状況

(単位:千円)

充当項目		3年度予算	4年度予算
収 益 的 収 入	児童手当繰入金等	240,041	230,941
	企業債の利払い	989,524	969,840
	その他	270,000	270,000
	計	1,499,565	1,470,781
資 本 的 収 入	地下鉄設備等の建設改良に係る一般会計出資金	2,919,000	4,350,000
	児童手当繰入金等	0	4,763
	企業債の元金償還等	2,982,593	3,250,590
	計	5,901,593	7,605,353
合計		7,401,158	9,076,134

(5) 令和4年度神戸市高速鉄道事業会計予定貸借対照表

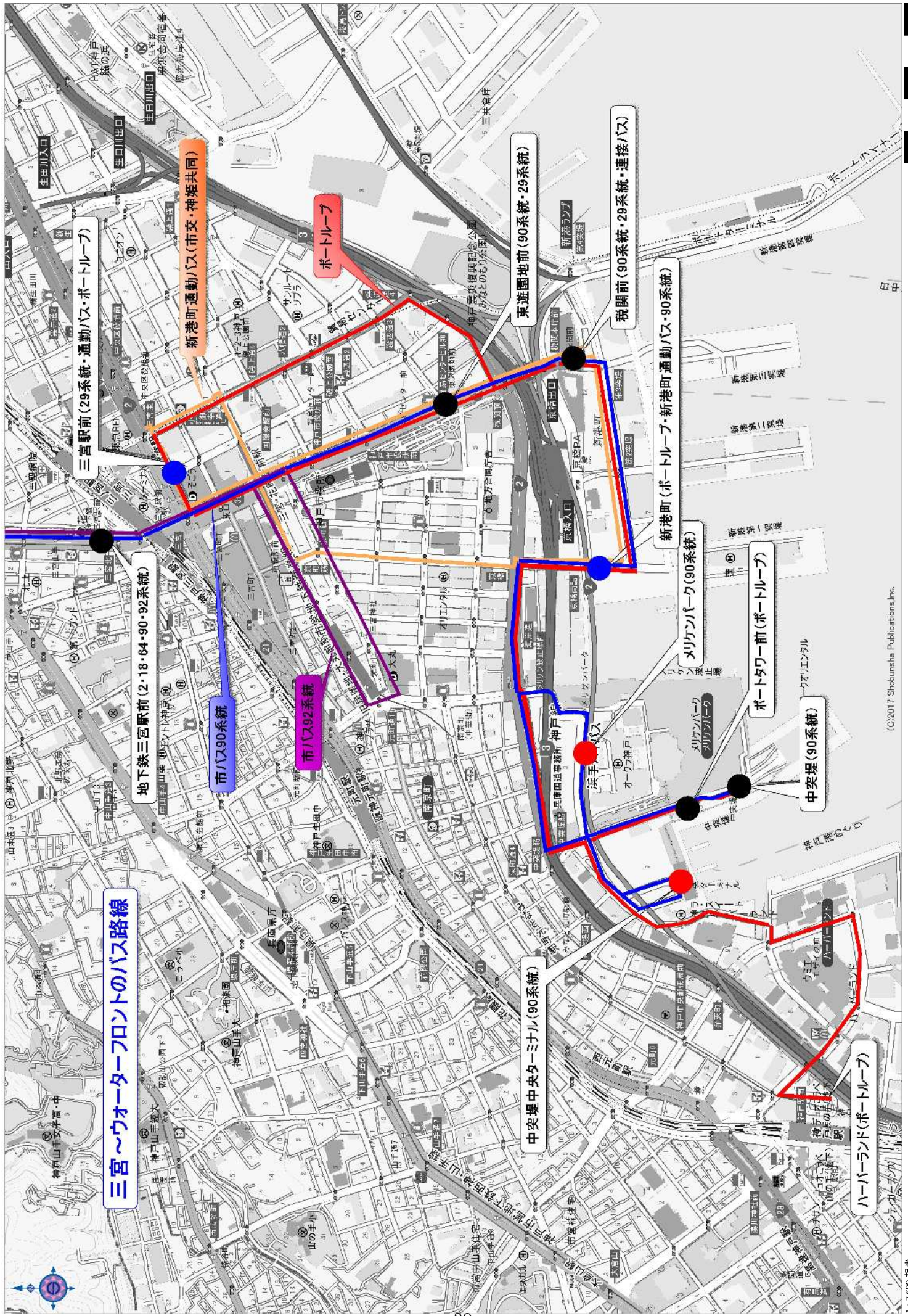
借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	272,506,766	固 定 負 債	174,522,095
運送施設有形固定資産	557,394,393	企 業 債	166,092,000
減価償却累計額	△ 293,201,162	引当金(退職給付引当金)	6,138,969
計	264,193,231	そ の 他 固 定 負 債	2,291,126
付帯事業有形固定資産	15,873,463	流 動 負 債	19,596,490
減価償却累計額	△ 11,367,156	一 時 借 入 金	—
計	4,506,307	企 業 債	12,971,582
運送施設無形固定資産	686,527	未 払 金	4,491,381
投 資	3,120,701	前 受 金	1,512,238
流 動 資 産	8,982,628	預 り 金	139,470
現 金 預 金	1,981,914	引当金(賞与等引当金)	425,627
未 収 金	6,772,648	そ の 他 流 動 負 債	56,192
貯 蔵 品	227,719	繰 延 収 益	53,915,713
そ の 他 流 動 資 産	347	長 期 前 受 金	133,181,977
		収 益 化 累 計 額	△ 79,266,264
		資 本 金	104,187,900
		剰 余 金	△ 70,732,804
		資 本 剰 余 金	14,964,685
		利 益 剰 余 金	△ 85,697,489
		未 処 分 利 益 剰 余 金	△ 85,697,489
合 計	281,489,394	合 計	281,489,394

乗客数の推移

(単位：人、%)

	バス		地下鉄		
	1日あたり 乗客数	対前年度 増減率(%)	1日あたり 乗客数		対前年度 増減率(%)
21	198,540	△6.0	西神・山手	261,606	△2.3
			海岸	42,652	2.4
22	194,608	△2.0	西神・山手	261,587	△0.0
			海岸	42,670	0.0
23	192,034	△1.3	西神・山手	259,293	△0.9
			海岸	42,396	△0.6
24	191,850	△0.1	西神・山手	260,740	0.6
			海岸	42,894	1.2
25	189,337	△1.3	西神・山手	260,737	△0.0
			海岸	43,016	0.3
26	189,286	△0.0	西神・山手	259,863	△0.3
			海岸	43,520	1.2
27	189,564	0.1	西神・山手	262,329	0.9
			海岸	44,456	2.2
28	187,255	△1.2	西神・山手	261,495	△0.3
			海岸	45,451	2.2
29	186,763	△0.4	西神・山手	263,576	0.8
			海岸	48,643	7.0
30	183,230	△1.9	西神・山手	263,381	△0.1
			海岸	50,236	3.3
1	180,194	△1.7	西神・山手	260,567	△1.1
			海岸	51,352	2.2
(決算) 2	138,892	△22.9	西神・山手・北神	204,864	△21.4
			海岸	41,972	△18.3
(予算) 3	148,395	6.8	西神・山手・北神	222,823	8.8
			海岸	43,840	4.5
(予算) 4	155,622	4.9	西神・山手・北神	229,666	3.1
			海岸	45,436	3.6

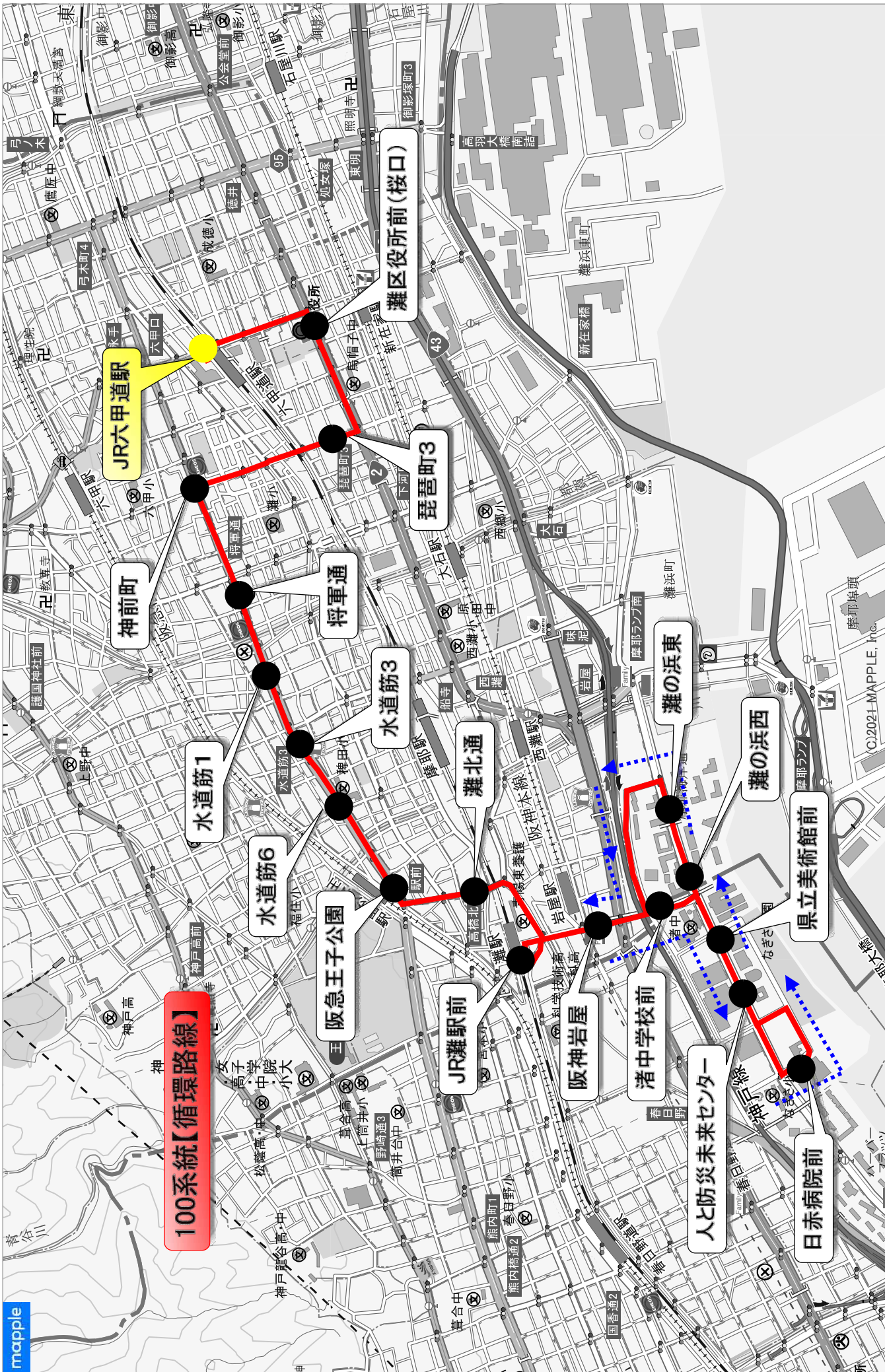
※地下鉄の令和2年度より北神線分含む

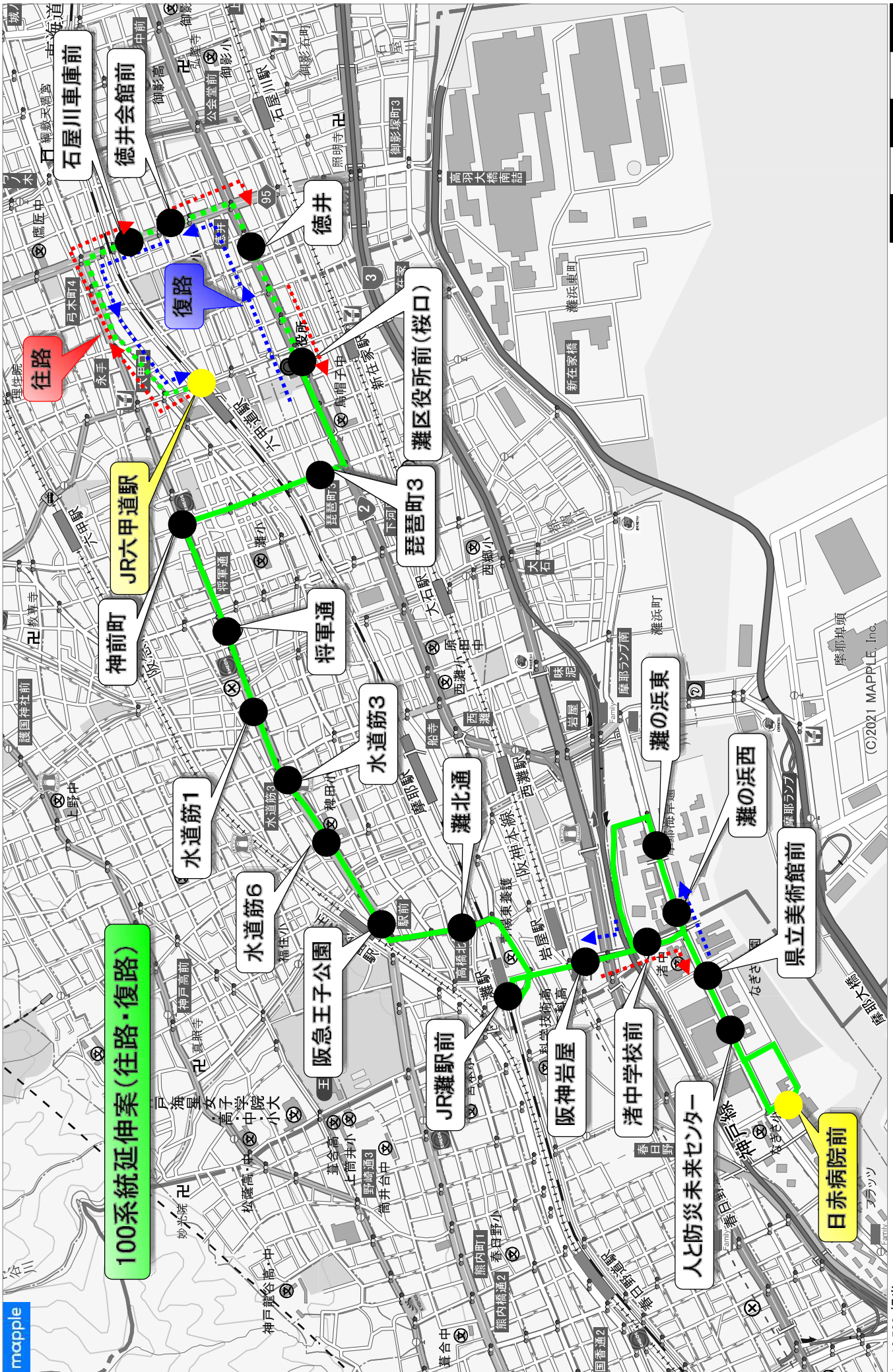


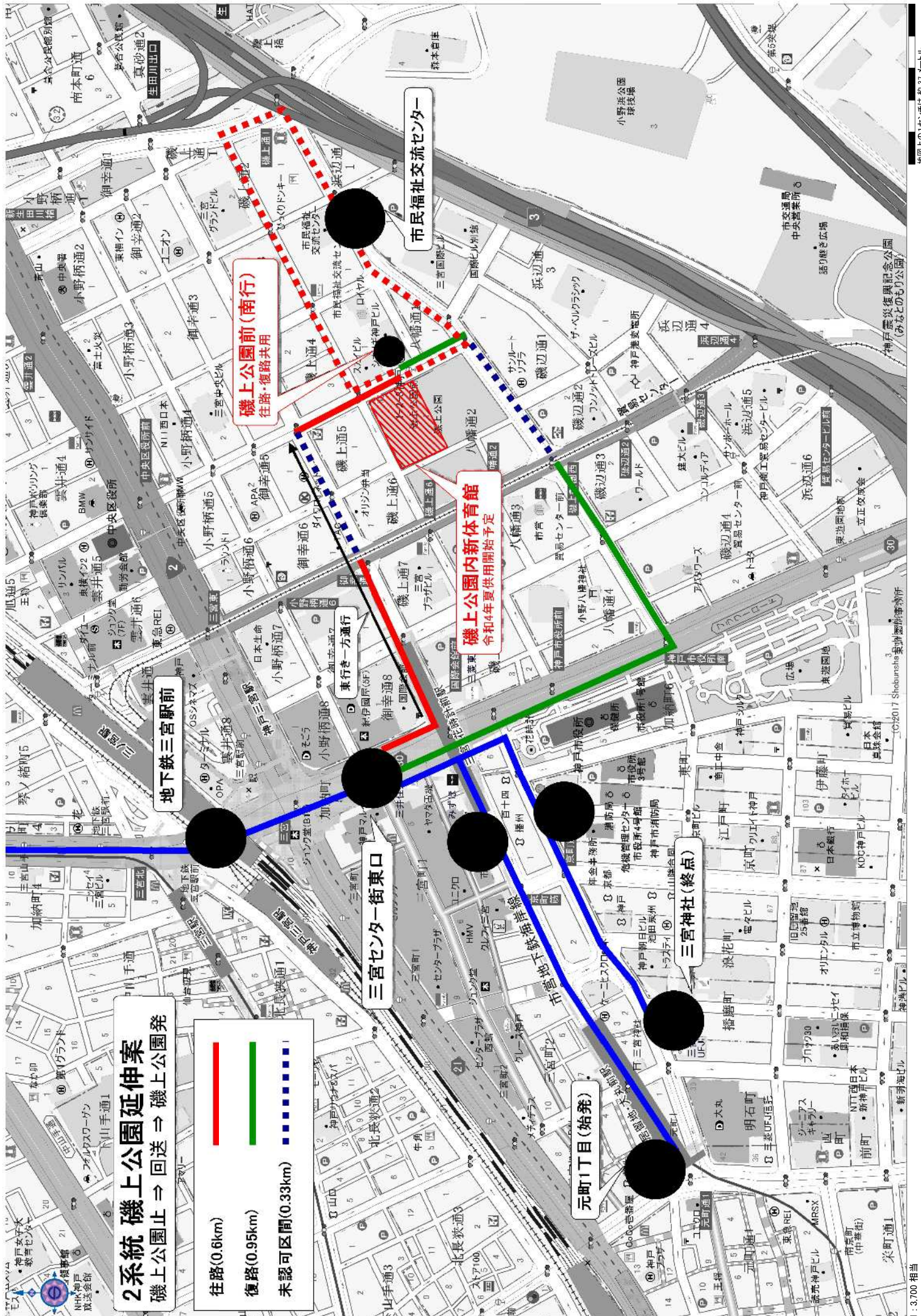
(C)2017 Shobunsha Publications, Inc.

地図上の1センチは 約 76メートル

1 : 7,600 相当







2系統 磯上公園延伸案
 磯上公園止 ⇒ 回送 ⇒ 磯上公園発

- 往路(0.6km)
- 復路(0.95km)
- - - 未認可区間(0.33km)